

異常な差別制度・・・後期高齢者医療制度は中止・撤回せよ！

「近所のみなさん、日本共産党です。」

この場をお借りして、四月一日から実施される、後期高齢者医療制度の、中止・撤回を求める立場で、お話しさせて頂きたいと思えます。ご協力を、よろしくお願いいたします。

また、昨年から、社会保障推進協議会のみなさんたちと一緒に進めてきた、中止・撤回を求める署名運動へのご協力も、合わせてお願いいたします。

みなさん。

後期高齢者医療制度は、二〇〇六年に、自民党と公明党が強行したもので、知れば知るほど、ひどい内容です。

七十五歳以上のお年寄りを、「後期高齢者」と名付けて、その方たちだけを、国民健康保険など、今入っている保険から追い出してつくるのが、後期高齢者医療制度です。負担が重たい上に、保険でみてもらえる治療が、制限されます。

厚生労働省の審議会は、「後期高齢者の心身の特性として・・・いざ避けられない死を迎える」という、報告書をまとめています。あげくの果てに、厚生省の課長は、講演の中で、「家で死ぬということ。病院に連れてくるな」とまで、発言しました。

「どうせ死ぬのだから」と言わんばかりに、「医療費」の削減だけをねらった、差別的な制度が、後期高齢者医療制度です。

怒りと抗議の声が広がるのは、当然ではないでしょうか。

中止・撤回、見直しを求める地方自治体の決議が、埼玉県内のさいたま市や川口、上尾、蕨、吉川、市などを含め、全国で五百を超え、全自治体の三割に迫っています。反対署名も三百五十万にのぼっています。

国会では、日本共産党など四つの野党が共同で、後期高齢者医療制度を廃止する法律案を、提出しました。

ごいっしょに、中止・撤回を求めているようではありませんか。国会請願署名に、是非、ご協力をお願いします。

「近所のみなさん、日本共産党です。」

後期高齢者医療制度の、有無を言わせない、負担の大きさも大問題です。

全国平均で年額八万六千円、埼玉県では、それを上回る、平均九万三千九百九十円の保険料が、年金天引きで徴収されます。これが、二年ごとに引き上げられるというのですから、たまりません。

七十五歳以上の方で、年金額が月々一万五千元以上の方は、今までの、介護保険料に加えて、高齢者医療の保険料が、年金から天引きされることになりました。

月一万五千元の年金でも、天引き額は、年金の三割近くになります。こんなにひどい、生存権の侵害はありません。

その上、このついでに、六五歳以上のお年寄りの、国民健康保険税(保険料)まで、年金から天引きするというのですから、ひどすぎます。

みなさん。

ひどい制度を強行した、政府や自民・公明は、「負担」の一部を「凍結」したことを、大宣伝しています。とりわけ公明党は、大手柄のように宣伝していますが、こんなまやかしはありません。

「凍結」されるのは、今まで被扶養者として、家族の健康保険に入っていた方の、保険料です。二年過ぎると、「凍結」は「解凍」され、一気に重たい負担がかかります。これでは、負担増の先送りではありません。

後期高齢者医療制度は、キツパリと、中止・撤回をするべきです。国会請願署名に、ご協力をよろしくお願いします。

「近所のみなさん、日本共産党です。」

医療・社会保障の財源は、イージス艦など軍事費や、道路特定財源など、税金の使い方を見直せば、もっともつとつくり出せます。

日本共産党とごいっしょに、国民本位の税金の使い方、集め方で、予算の主役を医療・社会保障中心に切り換える政治を、めざそうではありませんか。ご協力、ありがとうございました。